

『カルシウムシグナルを介した認知/ 精神機能調節と認知症治療戦略』

私どもは「何故、メマンチンは認知機能を改善するのか？」という素朴な疑問から、認知症既存薬であるメマンチンのメカニズム解明を行って参りました。メマンチンは、脳の「NMDA受容体 (NMDAR)」を阻害することにより認知機能を改善することが報告されておりますが、「NMDAR」はその賦活化による細胞内カルシウムシグナル活性化が記憶形成に重要であります。本セミナーでは、メマンチンの新たなMode of Action (MoA) の同定と認知症治療戦略についてご紹介させていただきます。

2024年9月9日(月) 17:30 ~ 18:45

@ 教育研修棟 ユニバーサルホール

■ 17:00 開場 / いずれの部門の皆さまもお気軽にご来場ください。

※ コーヒー・お菓子等もご用意いたします(先着順) ■



東北大学大学院 薬学研究科 (医薬品開発研究センター)

准教授 **森口 茂樹 先生**

Assoc Prof. Shigeki Moriguchi

- 九州大学大学院 博士後期課程修了(2001年)・博士(薬学)
- ノースウエスタン大学医学部(米国) 留学時より認知症の病態解明をスタート
- 2004年より、東北大学大学院 薬学研究科(薬理学)に着任「カルシウムシグナルに着目した認知症の病態解明に従事」
- 2015年より、認知症「脳糖尿病仮説」に着目した創薬研究に従事
- 2019年より、医薬品開発研究センターにて認知症創薬に従事(P.I.)
- 2022年より、Neusignal Therapeutics株式会社・創業科学者/特別顧問「新規認知症治療薬の研究開発を事業化」

【主催/お問合せ】 行動医学研究部

【担当】 小川 眞太郎 (内線: 5694)

[Eメール: sogawa@ncnp.go.jp]